

一般質問

質問

立 鈴
議員

- 一、市内には、非常に優れた技術力と匠の技によって発展した誘致企業があり、多くの雇用などにより市の発展に貢献しています。これらの企業が、規模を拡大し雇用の増を図る計画をしても、計画地が住宅地等で拡張ができないなど法的な問題もあると思われる。企業と情報を共有し、企業育成と雇用の拡大を図るようにしたらどうか。
- また、企業等の事業概要を広報することにより、市民に身近な存在となり、人材の流失防止などの波及効果が生じると思うがどうか。
- 二、空き店舗のシャッターに色彩鮮やかな絵が描かれている。心は和むが、本来の商店街の活性化振興には結びついていない。まずは、消費者人口の拡大が最重要である。市内にない品物は仕方ないとしても、できるだけ市内の商店で購入する意識を高める環境づくりが重要である。抜本的な施策が必要と思われるが、市の考えを伺いたい。

答弁

- 一、これまでも企業間の意見交換会の場を設けたり、会議所や商工会政推進協議会におかれても情報交換が行われています。地場企業が持っている技術力を足がかりに、市内企業が成長するような取り組みができないか、引き続き努力してまいります。また、国内でも誇れるような技術力を持つ市内企業は、本市の誇りでもあります。これらの企業の情報を市民に周知することは重要だと考えます。
- 現在は、企業のご協力を得て、松浦駅前の看板に掲載しています。
- 二、現在は、シャッターが下りたところが多くみられるという状況のため、少しでも見栄えがよいようにとのことから商工会議所で取り組みしております。
- また、チャレンジショップの取り組みも商工会議所で行われており、昨年度にはネイルと衣装を販売する店舗と本年度にはパン屋が開店しております。

一般質問

質問

吉 富
議員

- 一、学校給食の無料化について
- 二、立岩地区地滑り対策の進捗について

答弁

- 一、松浦市でも人口は、少子化と流出によって減少が進んでいる。定住促進を進めるためにも、思い切った政治判断のもとに学校給食の完全無料化を行う考えはないか。人口減少の歯止めになるのではないかと思う。
- 二、立岩地区の地滑り地帯に対して、県がこのたび大規模な対策工事を実施することとなっている。地域では、最近は見えてコンクリートブロックにひびが入ったような現象や市道でも水道管がずれて割れてしまったのを見かけたこともある。県による地元説明会が開かれているが、その後、どのような進捗状況で、今後の対策はどのようなになっているのかお聞きしたい。
- 他にいじめ問題の結果と今後の対策と体罰について及び空き家対策と定住促進について質問しました。
- 一、昨年度から第2子以降の給食費の半額補助を実施しています。また、学校給食法には給食の材料費は保護者が負担するという規定があります。ご提案の主旨は、少子化対策としては有効な手段と思いますが、現在、福祉医療費を中学生まで拡大し、定住促進住宅家賃の減額も実施しておりますので、現在のところは現行の補助制度を継続したいと思っています。
- 二、地滑り対策事業は、県の県北振興局が推進しています。立岩地区は、昭和27年ごろに最初の地滑りが発生し、35年に地滑り防止地区の指定を受け、40年代に対策工事は一旦完了しています。平成14年の調査で再び兆候が表れ、19年度と24年度に防止区域の追加指定がなされ、面積は合計で101・82ヘクタールとなっています。調川中学校から天満神社の山の上までの幅600メートルの区域が国道に向かって滑っていると想定されています。対策事業は、平成19年度から50年度までの期間で、本年度は、排水トンネル坑口までの仮設道路工事が既に発注され、来年1月までの工期となっています。